

2017年6月7日

報道関係各位

株式会社センターポイント・ディベロップメント

マルチテナント型物流施設「厚木内陸ロジスティクスセンター」を着工

株式会社センターポイント・ディベロップメント(本社:東京都千代田区、代表取締役 吉川陽介)は、神奈川県厚木市で地上4階建て延床面積約 55,500 m²のマルチテナント型物流施設「厚木内陸ロジスティクスセンター」を2017年6月7日に着工したことをお知らせいたします。当施設の竣工は2018年6月末の予定です。

当施設は都心部から約40kmの距離に位置し、圏央道「相模原愛川IC」まで約3.3kmと至近に立地しており、東名高速道路「厚木IC」、中央自動車道、国道129号、国道16号及び国道246号へのアクセスが容易であり、首都圏広域のみならず名古屋・大阪を含む西日本への広域物流拠点となる立地にあります。また、2018年度には新東名高速道路「厚木南IC」が開設され、さらに2020年度には「御殿場IC」までの全区間が開通する予定で、西日本方面への交通利便性が一層高まることが期待されております。

当施設が立地する周辺一帯は、約140社の企業の製造工場や物流施設等が集積する工業専用地域となっているため、365日24時間の稼働が可能で物流効率化を実現できる環境です。

当施設の仕様は、倉庫部分は床荷重1.5t/m²、柱スパン10m以上、梁下天井有効高5.5m、全館LED照明と最新の仕様を備えるものとしています。また、40フィートコンテナ車等の大型車両が3階部分に直接乗り入れ可能なスロープを設け、約60台分のトラックバースを1階と3階に備えることにより、効率的かつ迅速な入出庫オペレーションを可能としています。各区画には、荷物用エレベーター、カゴ車・パレット兼用垂直搬送機を各1基ずつ計8台を設置し、貨物の上下搬送の効率化に配慮しております。さらに将来的なニーズにも対応できるよう事務室スペース、荷物用エレベーター・垂直搬送機等の増設も可能にしております。

施設で働く方々の職場環境に配慮し、共用の休憩室、喫煙スペース、ドライバー用トイレ等のアメニティの充実を図っており、また、24時間営業のコンビニエンスストアも至近に立地しています。

また、当施設は環境や省エネルギーにも配慮しており、CASBEE新築「Aランク」の取得を予定しております。

【施設概要】

所在地	神奈川県厚木市下川入字三ノ域127番1他
監理監修	株式会社日立建設設計
設計施工	サンエス建設株式会社
着工	2017年6月7日
竣工	2018年6月30日(予定)
敷地面積	25,159.69 m ² (約7,610坪)
建築面積	15,987.20 m ² (約4,836坪)
延床面積	55,702.20 m ² (約16,849坪)
賃貸可能面積	47,066.72 m ² (約14,238坪)
構造	鉄骨造、地上4階建て
用途	マルチテナント型物流施設

【外観パース】 ※下記は完成イメージです。



【広域周辺地図】



【周辺地図】



当施設に関するお問い合わせ先

株式会社センターポイント・ディベロップメント (<http://centerpoint.jp/>)

担当者: 小須田

電話 : 03-6206-1275

メールアドレス: info@centerpoint.jp